

渡邊・レグナー・嘉子さん

DeJaK（文化を配慮した介護）-友の会代表

略歴

静岡県湖西市出身。立教大学大学院修士課程修了。1978年から東京の大学で英語講師を勤めた後、1981年渡独。ベルリン工科大学およびベルリン自由大学にて教育学、現代史、日本学専攻。ベルリン自由大学およびボフム大学等で日本語講師。2012年、ドイツ在住の日本人の高齢化問題に対応するため、ドイツ全国規模のDeJaK（デーヤク、文化を配慮した介護）-友の会を設立。以後日独高齢者問題に関しての情報収集と その普及活動および公共機関への働きかけなどで活躍。



ドイツの介護事情や認知症ケアに詳しい渡邊・レグナー・嘉子さんをドイツからお招きして、ドイツの介護制度と認知症ケアの最新状況を学びます。

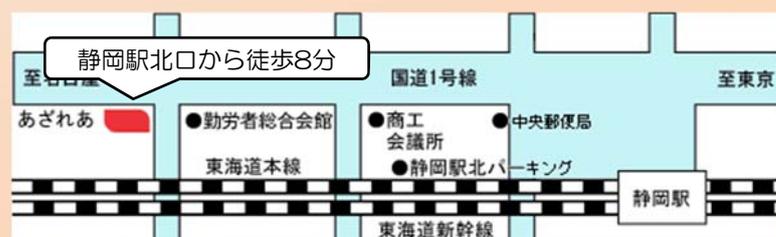
平成29年 2月26日（日）

日時

14:00～16:00（開場13:30）

あざれあ501会議室

会場

<http://www.azarea-navi.jp/>

参加自由・事前申込不要・参加費無料

主催 認知症ケアの倫理と法研究プロジェクト（科研費研究代表者：松田純）

後援 静岡大学人文社会科学部・特定非営利活動法人ヒューマン・ケア支援機構

認知症の方とその家族のための有資格ボランティアの制度
ドイツにおける介護